



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 フマキラー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4998 URL <https://www.fumakilla.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下 一明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐々木 高範 TEL 0829-55-2112  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	13,339	△3.7	434	△20.6	476	△20.6	162	△48.2
2019年3月期第1四半期	13,854	△5.1	546	△68.2	600	△66.1	314	△73.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 143百万円 (△74.6%) 2019年3月期第1四半期 566百万円 (△65.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	9.87	-
2019年3月期第1四半期	19.06	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	38,929	16,692	40.5	957.51
2019年3月期	42,180	17,028	38.3	980.45

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 15,782百万円 2019年3月期 16,160百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	-	-	26.00	26.00
2020年3月期	-	-	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	-	-	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,100	9.4	920	774.7	870	662.9	360	549.4	21.84
通期	43,700	6.0	1,850	62.8	1,910	43.3	990	42.7	60.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	16,490,000株	2019年3月期	16,490,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	7,169株	2019年3月期	7,061株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	16,482,878株	2019年3月期1Q	16,483,530株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料における業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定の要素を含んでいます。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値とは異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(経営成績)

(単位：百万円)

指標等	2019年3月期 第1四半期累計	2020年3月期 第1四半期累計	増減額	増減率 (%)
売上高	13,854	13,339	△514	△3.7
営業利益	546	434	△112	△20.6
経常利益	600	476	△123	△20.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	314	162	△151	△48.2
1株当たり四半期純利益	19円06銭	9円87銭		

(国内・海外売上成績)

(単位：百万円)

	2019年3月期 第1四半期累計	2020年3月期 第1四半期累計	増減額	増減率 (%)
国内	9,666	8,767	△898	△9.3
海外	4,188	4,572	383	9.2
合計	13,854	13,339	△514	△3.7
海外売上構成比	30.2%	34.3%		

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）におけるわが国の経済は、企業収益の改善、各種政策の効果などにより緩やかな景気回復基調が続いています。一方、世界経済においては、米中間の貿易摩擦や中国の景気減速懸念などにより、先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。わたしたちは、世界中の人々がいつまでも安心して快適に暮らすことのできる社会づくりに貢献していきます。」という経営理念のもとで、コア事業の殺虫剤、家庭用品、園芸用品の成長カテゴリーに新価値創造型新製品を積極的に投入し、既存事業の強化・育成を図るとともに、コストダウンや経費の効率的な運用等による利益構造の改革及び海外事業の強化拡大等の課題に努めてまいりました。

売上高は、前年同期比3.7%減の133億39百万円（為替変動の影響を除くと3.8%減）となりました。

国内売上は、防疫剤、その他の部門が増収となりましたが、殺虫剤市場が4月から6月にかけての天候不順の影響により前年割れの中、当社もその影響を受けて殺虫剤売上が前年同期比12.8%の減収となりました。その結果、国内合計では前年同期比9.3%減の87億67百万円となりました。一方、海外売上は、インドネシアの子会社の売上が好調に推移し、円貨ベースでは前年同期比9.2%増の45億72百万円（為替変動の影響を除くと8.9%増）となりました。

次に、売上原価ですが、前年同期より63百万円減の93億24百万円となりました。その結果、売上原価率は69.9%で、前年同期より2.1ポイント増となりました。原価率のアップ要因は、売上構成が変動したこと等によるものです。

これらの結果、売上総利益は40億14百万円（前年同期比10.1%減）となり、返品調整引当金調整後の差引売上総利益は38億78百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

販管費につきましては、経費の効率的運用と節減に努めた結果、販管費は大きく減少し、前年同期比7.0%減の34億44百万円となりました。

これらの結果、営業利益は4億34百万円（前年同期比20.6%減）、経常利益は4億76百万円（前年同期比20.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1億62百万円（前年同期比48.2%減）となりました。

次に、商品部門別の概況についてご報告申し上げます。

(単位：百万円)

	2019年3月期 第1四半期累計	2020年3月期 第1四半期累計	増減額	増減率 (%)
殺虫剤	11,210	10,701	△509	△4.5
家庭用品	221	196	△24	△11.1
園芸用品	1,135	958	△176	△15.6
防疫剤	526	540	14	2.7
その他	759	941	181	23.9
合計	13,854	13,339	△514	△3.7

**殺虫剤部門**

殺虫剤部門では、国内の殺虫剤市場は4月初旬から最盛期の6月にかけて最高気温が前年を下回ったことで、市場全体が前年を大幅に下回って推移いたしました。そのような中で当社は、「おすだけペープスプレーハイブリッドプレミアム」、「ゴキファイタープロストロング」、「ゴキファイタープロ激取れ」等の新製品を上市し、これら新製品が売上増に寄与しましたが、市場全体が縮小した影響を受けて売上が減少し、前年同期比12.8%減の減収となりました。

一方、海外におきましては、昨年天候の影響を受けて落ち込んだインドネシアの子会社の売上が回復したことから、前年同期比9.5%増の増収となりました。

これらにより、国内及び海外の殺虫剤合計の売上高は前年同期比4.5%減の107億1百万円（前年同期比5億9百万円減）となりました。

**家庭用品部門**

家庭用品部門は、「シューズの気持ちプレミアム280ML無香性」の売上が好調に推移した一方で、主力のアルコール除菌剤が出荷ベースでは堅調に推移したものの、競争の激化から最終的な売上が前期を下回りました。加えて、花粉関連商材が直前期に販売した商品の返品が増加した結果、家庭用品合計の売上高は前年同期比11.1%減の1億96百万円（前年同期比24百万円減）となりました。

**園芸用品部門**

園芸用品部門は、「虫よけ除草王プレミアム」を中心とした除草剤の売上が前年並みとなった一方で、主力の殺虫殺菌剤や不快害虫用殺虫剤が天候不順の影響を受けたこと等により売上が減少した結果、園芸用品合計の売上高は、前年同期比15.6%減の9億58百万円（前年同期比1億76百万円減）となりました。

**防疫剤、その他の部門**

防疫剤部門の売上高は、5億40百万円（前年同期比14百万円増、2.7%増）となりました。

その他の部門の売上高は、子会社のフマキラー・トータルシステム(株)のシロアリ施工工事が好調で、9億41百万円（前年同期比1億81百万円増、23.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末に比べて32億50百万円減少し、389億29百万円となりました。主な要因は現金及び預金が5億13百万円、使用権資産（純額）が3億73百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が21億76百万円、たな卸資産が15億36百万円、投資有価証券が3億5百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べて29億14百万円減少し、222億37百万円となりました。主な要因は電子記録債務が8億77百万円増加した一方で、短期借入金が50億48百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べて3億36百万円減少し、166億92百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定が96百万円増加した一方で、利益剰余金が2億65百万円、その他有価証券評価差額金が2億11百万円減少したこと等によるものであります。

自己資本比率は、前連結会計年度末より2.2ポイント上昇し40.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては2019年5月13日の決算発表時点と変更はありません。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,087,032	5,600,917
受取手形及び売掛金	12,463,230	10,286,355
電子記録債権	133,383	376,548
商品及び製品	6,893,484	5,948,851
仕掛品	1,051,239	793,161
原材料及び貯蔵品	2,016,164	1,682,207
その他	1,201,437	948,878
貸倒引当金	△1,404	△1,667
流動資産合計	28,844,567	25,635,250
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,702,764	1,686,530
機械装置及び運搬具(純額)	1,841,995	1,831,842
工具、器具及び備品(純額)	255,459	231,598
土地	785,086	787,419
リース資産(純額)	26,987	24,447
使用権資産(純額)	—	373,113
建設仮勘定	205,732	204,720
有形固定資産合計	4,818,025	5,139,672
無形固定資産		
のれん	799,597	802,342
商標権	677,200	675,520
その他	579,157	516,634
無形固定資産合計	2,055,956	1,994,497
投資その他の資産		
投資有価証券	6,040,345	5,734,882
退職給付に係る資産	89,888	89,616
その他	519,603	536,492
投資損失引当金	△44,990	△45,990
貸倒引当金	△142,629	△154,476
投資その他の資産合計	6,462,217	6,160,523
固定資産合計	13,336,198	13,294,694
資産合計	42,180,766	38,929,944

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,944,914	4,015,501
電子記録債務	2,221,516	3,099,131
短期借入金	13,135,785	8,087,205
リース債務	9,317	45,380
未払法人税等	172,430	381,442
賞与引当金	415,264	196,303
役員賞与引当金	—	778
売上割戻引当金	438,741	719,070
返品調整引当金	651,095	770,745
その他	2,589,549	3,189,860
流動負債合計	23,578,614	20,505,417
固定負債		
リース債務	17,670	308,778
退職給付に係る負債	402,685	429,779
役員退職慰労引当金	488,771	497,018
資産除去債務	9,687	9,733
その他	654,998	486,952
固定負債合計	1,573,812	1,732,262
負債合計	25,152,427	22,237,680
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,698,680	3,698,680
資本剰余金	4,797,103	4,797,103
利益剰余金	6,159,494	5,893,704
自己株式	△5,379	△5,527
株主資本合計	14,649,898	14,383,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,059,882	1,848,176
為替換算調整勘定	△508,004	△411,018
退職給付に係る調整累計額	△41,098	△38,716
その他の包括利益累計額合計	1,510,779	1,398,441
非支配株主持分	867,661	909,860
純資産合計	17,028,338	16,692,263
負債純資産合計	42,180,766	38,929,944

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	13,854,120	13,339,222
売上原価	9,388,523	9,324,923
売上総利益	4,465,596	4,014,298
返品調整引当金戻入額	102,953	111,034
返品調整引当金繰入額	318,011	246,358
差引売上総利益	4,250,538	3,878,975
販売費及び一般管理費	3,703,739	3,444,627
営業利益	546,799	434,348
営業外収益		
受取利息	5,184	19,462
受取配当金	52,333	58,393
その他	40,980	26,496
営業外収益合計	98,497	104,352
営業外費用		
支払利息	8,989	15,678
売上割引	28,768	31,775
為替差損	1,335	9,132
その他	5,594	5,429
営業外費用合計	44,687	62,016
経常利益	600,609	476,683
特別利益		
固定資産売却益	1,495	3,742
受取保険金	25,524	—
特別利益合計	27,020	3,742
特別損失		
固定資産除売却損	27	—
役員退職慰労金	28,400	—
借入金繰上返済関連費用	29,777	—
投資損失引当金繰入額	—	1,000
特別損失合計	58,204	1,000
税金等調整前四半期純利益	569,425	479,426
法人税、住民税及び事業税	431,547	328,656
法人税等調整額	△213,184	△69,390
法人税等合計	218,363	259,266
四半期純利益	351,061	220,160
非支配株主に帰属する四半期純利益	36,966	57,393
親会社株主に帰属する四半期純利益	314,095	162,766



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	351,061	220,160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	612,305	△211,706
為替換算調整勘定	△401,299	132,637
退職給付に係る調整額	4,427	2,799
その他の包括利益合計	215,433	△76,268
四半期包括利益	566,495	143,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	567,244	50,429
非支配株主に係る四半期包括利益	△748	93,462

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社の在外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。

これに伴い、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースについて使用権資産およびリース債務を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース債務に係る支払利息を計上しております。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において、有形固定資産の「使用権資産(純額)」が373,113千円増加、無形固定資産の「その他」が82,288千円減少、流動負債の「リース債務」が37,631千円増加、固定負債の「リース債務」が292,561千円増加、「その他」が7,828千円減少、利益剰余金が31,540千円減少しております。

なお、従来無形固定資産の「その他」に含めて記載しておりました借地権82,288千円につきましては、当第1四半期連結会計期間より「使用権資産(純額)」に含めて記載しております。

また、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	日本	東南アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,894,214	3,789,643	13,683,857	170,262	13,854,120
セグメント間の内部売上高又は振替高	268,782	439,104	707,886	—	707,886
計	10,162,996	4,228,747	14,391,744	170,262	14,562,007
セグメント利益	342,444	79,848	422,293	9,309	431,603

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	422,293
「その他」の区分の利益	9,309
セグメント間取引消去	115,195
四半期連結損益計算書の営業利益	546,799

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	日本	東南アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,112,697	4,059,648	13,172,346	166,876	13,339,222
セグメント間の内部売上高又は振替高	440,423	619,952	1,060,375	—	1,060,375
計	9,553,120	4,679,601	14,232,722	166,876	14,399,598
セグメント利益又は損失(△)	132,546	342,111	474,658	△98,261	376,396

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	474,658
「その他」の区分の損失	△98,261
セグメント間取引消去	57,951
四半期連結損益計算書の営業利益	434,348

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。